

平成19年度 学校自己評価及び外部評価結果

中・長期目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間としての在り方生き方の基本を身につける</li> <li>・生き生きと目的をもって意欲的・自主的に学校生活に取り組む</li> <li>・自己の夢の実現に向けて努力する</li> </ul>		
評価領域	重点目標	具体的方策(教育活動)	評価基準及び取組状況(自己評価)	外部評価
学習指導	基礎学力の定着	毎朝の漢字学習と放課後に週1回、計算学習を実施する。	4 合わせて年間200回以上実施できた。 3 合わせて年間180回以上実施できた。 ② 合わせて年間160回以上実施できた。 1 実施回数が合わせて年間160回未満であった。	B
	魅力ある授業の実践	1人1回以上研究授業を実施する。	4 教員1人平均1.5回以上実施できた。 3 教員1人平均1.2回以上実施できた。 ② 教員1人平均1.0回以上実施できた。 1 実施回数が教員1人平均1.0回未満であった。	B
生徒指導	マナーとモラルの育成	あいさつに関する標語を募集し、優秀作品を表彰する。	4 応募作品が25件以上あった。 ③ 応募作品が20件以上あった。 2 応募作品が15件以上あった。 1 応募作品が15件未満であった。	B
	交通安全指導の徹底	年3回交通安全指導を実施し、事故ゼロをめざす。	④ 年間3回の指導を行い、事故件数がゼロであった。 3 年間3回の指導を行った。 2 年間2回の指導を行った。 1 指導回数が年間1回以下であった。	B
進路指導	キャリア教育の推進	インターンシップ(1年生3日間、2年生5日間)を実施する。	④ 8割以上の生徒が有意義であったと回答した。 3 7割以上の生徒が有意義であったと回答した。 2 6割以上の生徒が有意義であったと回答した。 1 有意義であったと回答した生徒が6割未満であった。	B
	面接指導の充実	管理職を含め、全校体制で取り組む	④ 面接指導を生徒1人平均5回以上実施した。 3 面接指導を生徒1人平均4回実施した。 2 面接指導を生徒1人平均3回実施した。 1 面接指導が生徒1人平均3回未満であった。	B
健康安全	教育相談の充実	校内研修会を実施する。また、定期的に情報交換会を行う。	4 教育相談の校内研修会を年間3回以上実施した。 ③ 教育相談の校内研修会を年間2回実施した。 2 教育相談の校内研修会を年間1回実施した。 1 教育相談の校内研修会を実施しなかった。	B
	施設の定期的な点検	毎月1回教室等の点検を実施し、改善箇所を把握する。	4 施設の点検を年間12回以上実施した。 ③ 施設の点検を年間10回以上実施した。 2 施設の点検を年間8回以上実施した。 1 施設の点検が年間8回未満であった。	B
図書情報	図書館の利用促進	購入図書について、生徒の意見も反映させる。	4 図書館利用率が30%以上アップした。 3 図書館利用率が20%以上アップした。 ② 図書館利用率が10%以上アップした。 1 図書館利用のアップ率が10%未満であった。	B
	情報管理の徹底	校内資料、個人情報の収集、整理、管理を徹底する。	④ 情報モラルの校内研修会を年間3回以上実施した。 3 情報モラルの校内研修会を年間2回実施した。 2 情報モラルの校内研修会を年間1回実施した。 1 情報モラルの校内研修会を実施しなかった。	B

評価領域	重点目標	具体的方策(教育活動)	評価基準及び取組状況	備考
特別活動	生徒会行事の工夫改善	生徒会執行部と各種委員会が連携し、全校生徒で取り組む。	④ 一人一役が100%達成できた。 ③ 一人一役が95%以上達成できた。 ② 一人一役が90%以上達成できた。 ① 一人一役の達成率が90%未満であった。	A
	校内美化意識の向上	毎月1回、全校生徒で美化活動を実施する。	④ 美化活動を年間12回以上実施した。 ③ 美化活動を年間10回以上実施した。 ② 美化活動を年間8回以上実施した。 ① 実施した美化活動が年間8回未満であった。	A
開校づくり	家庭や地域への情報発信	H.P.を毎週更新する。年間6回、学校広報を地域に配布する。	④ 広報を年間6回以上発行した。 ③ 広報を年間5回発行した。 ② 広報を年間4回発行した。 ① 広報の発行が年間4回未満であった。	A
	地域との交流活動の推進	地元の保育園・高齢者施設との交流を年30回行う。	④ 交流活動を年間30回以上実施した。 ③ 交流活動を年間27回以上実施した。 ② 交流活動を年間24回以上実施した。 ① 交流活動の回数が年間24回未満であった。	A
1年部	基本的な生活習慣の確立	体調管理・自己管理の意識を高め、遅刻・欠席を極力抑える。	④ 全員無遅刻無欠席の日が180日以上であった。 ③ 全員無遅刻無欠席の日が150日以上であった。 ② 全員無遅刻無欠席の日が120日以上であった。 ① 全員無遅刻無欠席の日が120日未満であった。	A
	家庭学習習慣の育成	個別指導を中心に、家庭学習習慣の定着をめざす。	④ 課題の提出率が100%であった。 ③ 課題の提出率が90%以上であった。 ② 課題の提出率が80%以上であった。 ① 課題の提出率が80%未満であった。	B
2年部	基本的な生活習慣の徹底	報告や連絡等の習慣化を図り、コミュニケーション能力を育成する。	④ クラス討論会を年間10回以上実施した。 ③ クラス討論会を年間8回以上実施した。 ② クラス討論会を年間6回以上実施した。 ① 実施したクラス討論会が年間6回未満であった。	B
	基礎学力の定着	日頃から漢字を書くように指導し、語彙力を高める。	④ 全員が漢字検定3級レベルに到達した。 ③ 8割以上の生徒が漢字検定3級レベルに到達した。 ② 6割以上の生徒が漢字検定3級レベルに到達した。 ① 漢検3級レベルに到達した生徒が6割未満であった。	B
3年部	個に応じた進路指導	学期に2回個人面談を実施し、個々の適性を的確に把握する。	④ 面談を1人平均6回以上実施した。 ③ 面談を1人平均5回実施した。 ② 面談を1人平均4回実施した。 ① 面談回数が1人平均4回未満であった。	B
	マナーの向上	マナーの向上を図り、進路実現につなげる。	④ 服装等の再指導の生徒がゼロであった。 ③ 服装等の再指導の生徒が2名以下であった。 ② 服装等の再指導の生徒が4名以下であった。 ① 服装等の再指導の生徒が5名以上であった。	B

・「自己評価」は学校教職員が1年間の取組状況を自己分析した結果である。

・「外部評価」は学校関係者評価委員会が学校の取組状況を分析した結果である。

・外部評価の基準は次のとおりである

A・・・優れている      B・・・よい      C・・・概ね良い      D・・・要改善